

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	リサイクル活動の推進				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名 (行政計画外事業)	事業の開始・終了年度			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] [小 柱] [施 策]			[事業開始] 平成 8 年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立環境ふれあい館条例、東京都台東区立環境ふれあい館条例施行規則				
	事業対象	一般区民、区内在勤・在学者、区内で活動するリサイクル団体						
	事業目的	リサイクル活動団体の活動の核となる場を提供し、地域のリサイクル活動を有機的につなぎ支援・育成する。また、不用品の再利用を目的とした講座やリサイクルショップの運営を通じて、資源の再利用を促進し、循環型社会の形成に寄与する生活スタイルの定着を図る。						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル活動室等事業運営委託</li> <li>(1)リサイクル活動室の管理・運営(活動室及び貸出用備品の利用受付・貸出)(2)リサイクルに関する情報の収集・提供</li> <li>(3)再利用講座情報等に関する広報誌の編集・作成(4)再利用講座の企画・実施</li> <li>・リサイクルショップ等事業運営委託</li> <li>(1)リサイクルショップの管理・運営(不用品の出品受付・展示・販売・精算業務)、</li> <li>(2)リサイクル情報交換コーナーの運営(不用品の譲渡及び譲り受け情報の提供業務)</li> </ul>						
	委託の有無	全部委託	委託内容		①リサイクル活動室等の事業運営 ②リサイクルショップ等の事業運営			
	補助金の有無	なし						
	事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度
		活動指標	再利用講座開催回数	回	142	142	140	138
			リサイクルショップ受付件数	点	69,000	69,023	69,429	68,866
成果指標		再利用講座参加者数	人	930	892	680	922	
		リサイクルショップ販売点数	点	50,500	50,385	50,212	50,032	
決算額 (単位：千円)					14,754	14,723	15,105	
事務事業コスト (単位：千円)		人にかかるコスト (人件費など)			9,800	4,676	6,416	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			14,755	14,723	15,106	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			24,555	19,399	21,522	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			2,187	2,191	2,182		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			22,368	17,208	19,340		
前回評価から改善した事項	活動室が開催する再利用講座について、周知の時期や開催場所を見直したことで、参加者数が増加した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	リサイクル活動室は地域のリサイクル活動の場として根付き、リサイクルショップは100%に近い受付状況が続いている。これらはリサイクル活動を通じて暮らしのあり方を提案し、循環型社会の形成を推進していく上で中心的な施設として役割を果たしている。					
	効率性	3	リサイクル活動室及びリサイクルショップの運営は任意団体への委託で行っている。団体はリサイクル意識を持った区民で構成され、受託事業の他、自主的な活動も積極的に行いリサイクル活動の推進・啓発を図っている。					
	手段の適切性	3	運営は行政主導ではなく、地域に密着して継続的に活動できるリサイクル意識を持った区民で構成された任意団体に運営を委託している。そのため、多様化する区民ニーズに柔軟に対応している。					
	目的達成度	4	リサイクル活動室が開催する再利用講座の参加者は増加している。リサイクルショップについては100%に近い受付状況が続いている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
3R(発生抑制・再利用・再生利用)を推進し、循環型社会の形成に寄与する生活スタイルの定着を図ることは重要である。					維持			